

## 開院一年を迎えて



旭川市医師会  
たかみや眼科

高宮 央

平成7年に旭川医科大学を卒業後、同大学眼科学講座に入局させていただき、それから20年間、現旭川医科大学学長である吉田晃敏教授のもと、眼科学についてのノウハウを教えていただきました。また、2005年から2年間、米国ハーバード大学、スケペンス眼研究所に留学をさせていただき、当時最先端であった網膜移植、網膜再生の研究にも携わらせていただきました。今振り返ってみますと、本当に充実した20年間を旭川医大眼科で過ごさせていただいたとありがたく思っています。

2015年11月に旭川市の神楽という場所で眼科開業をさせていただき、先日、開院一年目を無事に迎えることができました。開業するにあたり、多くの先生方に温かいご助言やご支援を賜りまして、この上もないありがたさを感じておりますとともに、この一年を過ごすことができましたのも、多くの先生方の支えがあったからこそ大変ありがたく思っております。この場をお借りしてお礼申し上げます。

現在当院は、開院当初の立ち上げの厳しい時期から今日まで力を合わせて頑張ってきた7名に、昨年の春から視能訓練士が1名加わり、8名のスタッフで日々の診療を行っております。外来では、一般の眼科疾患に加えて、大学病院の外来で専門としておりました加齢黄斑変性などの黄斑部疾患に対しても積極的に治療に取り組んでおります。また、水曜の午後と隔週で金曜の午後に白内障を中心に、眼瞼下垂や内反症、涙道チューブ挿入などの日帰り手術を行っております。しかし、大学病院在職時とは異なり、当院で行えることは限られておりますため、旭川医大病院の先生方をはじめとして、多くの先生方に難しい疾患の患者さんをご紹介させていただいて



おります。これからも、病診の連携を保たせていただき多くの先生方の助けをいただきながら、この地域の眼科診療にあたって参りたいと思っています。まだまだ不慣れなことが多く分からないことばかりで、ご迷惑をおかけすることが多々あるかと存じますが、これからもご指導、ご鞭撻をいただけましたら幸いに存じます。今後とも、何卒よろしく願い申し上げます。

## 旅は楽し (私の諸国漫遊)



渡島医師会  
にしや整形外科クリニック

西谷 貴行

あまり趣味のない小生ではありますが、年1回海外旅行をすることを楽しみにしております。主にアメリカ、ヨーロッパなどを旅することが多いのですが、今回はスペインのバルセロナに行きました。バルセロナは見所も多く、特にアントニオガウディが設計した「サグラダファミリア」など、彼が設計した建築物が有名です。なお、サグラダファミリアは2026年完成と発表されましたが、ガイドさんの話だと完成はいつになるか分からないとのことでした。

バルセロナは食事もおいしく、食べるとおなかも満足して、飲み物込みでも2,000円で十分楽しめます。ちなみにスペイン人は1日5食で、夕食は夜の10時ごろだそうです。そのためか、街ではメタボ体型の人をよく見掛けました。

今回、もう1つ楽しみにしていたのがサッカーで、FCバルセロナVSアトレティコマドリードの試合でした。FCバルセロナはご存知かと思われますが、メッシ、ネイマール、スアレスなどスーパースターが多く在籍し、ヨーロッパの強豪チームとして知られています。試合開始は夜の10時で日本では考えられないことですが、スペインでは珍しくないようです。結果は1対1の引き分けでしたが、十分楽しめました。

いつも旅をして思うのは、日本の良さの再発見です。ホテルやレストランでも、諸外国と比べると日本のおもてなしの精神は世界でもトップクラスだと思います。そう思っても懲りずに来年はどこに行くか考える自分がいます。